

# 海外在住者のための 香港保険まるわかりガイド



# 目次

- 01 資産運用の難しさ
- 02 ご契約例
- 03 香港保険の特徴
- 04 他の金融商品との違い
- 05 香港保険の運用の中身
- 06 香港保険が適している人
- 07 活用シナリオ
- 08 よくある質問
- 09 会社概要・お問い合わせ





01

# 海外在住者の 資産運用の難しさ

# 海外在住者の資産運用の難しさ

日本を離れて生活すると、多くの方が日本にいたときのような資産運用ができないと感じる方が多いと思います。  
NISAで新たな投資はできない、現地の金融機関は言語や制度の違いから不安を感じやすい。  
その結果、「できるなら増やしたいのに、なんとなく預金のみ」という状態になりがちです。



NISAへの新規投資ができない



日本にある資金での資産運用が困難



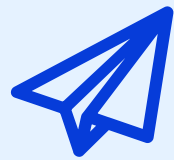
日本で新たな保険も契約ができない



居住国の金融機関を活用した  
資産運用が適さない

# 海外在住者の資産運用の課題を香港保険で解決

香港への渡航は不要。郵送とオンラインだけで契約・運用ができ、日本に帰国してもそのまま続けられます。  
一部を米ドルなどの外貨で持つことで、円だけに頼らず、将来の教育費や老後のためのお金を安定的に準備できます。  
「将来、どこで生活をしていても続けられる安心感」から、香港保険は多くの海外在住者に選ばれています。



## 海外在住中でも郵送で 契約手続きができる

現地にいながら、日本語で手続きが完結します。郵送とオンラインのみで、スムーズに申込みできます。



## 日本帰国後も運用を 継続できる

居住国が変わっても契約を維持でき、帰国後もそのまま運用を継続できます。



## 日本にある資金を 活用できる

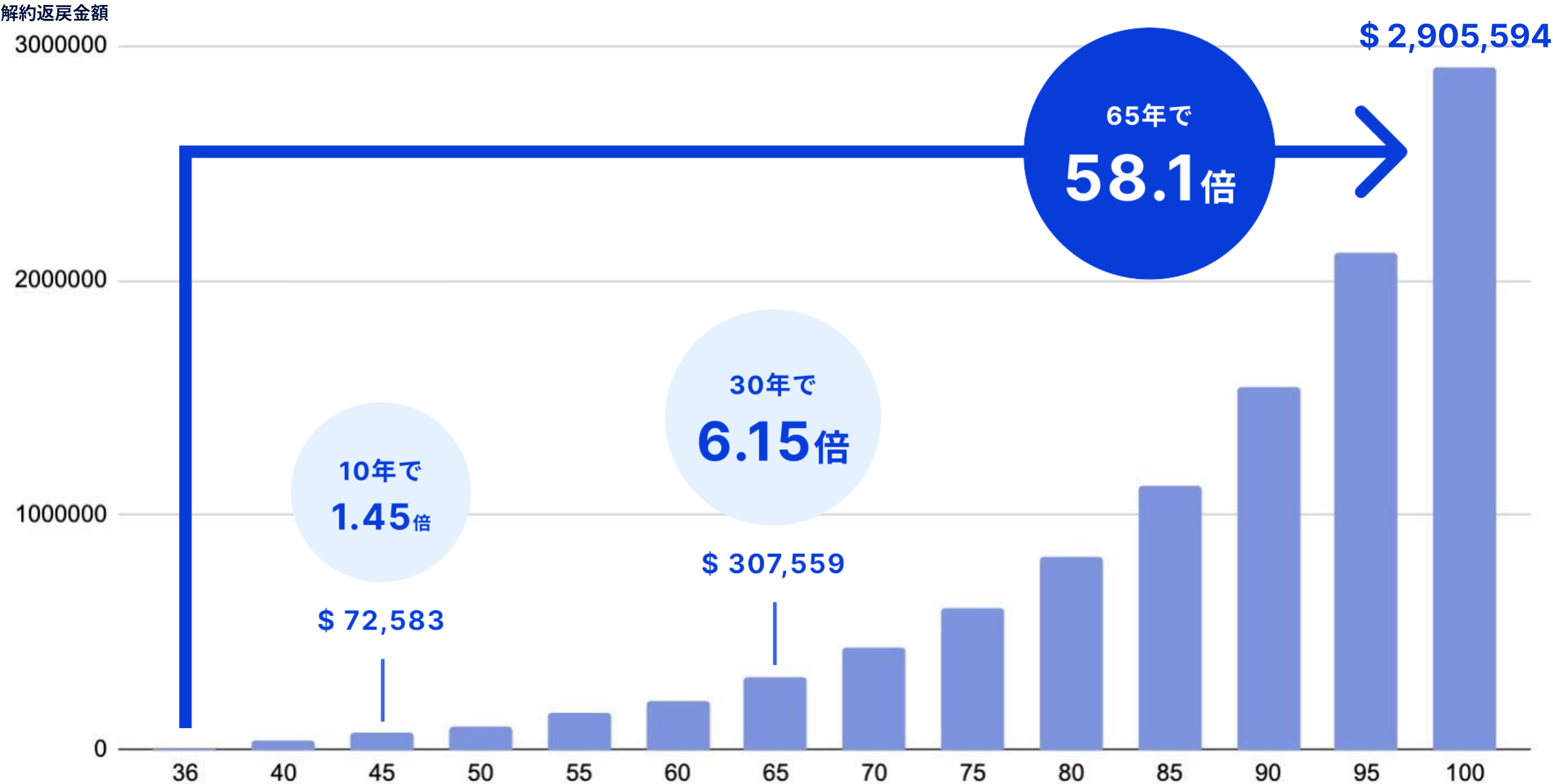
外国送金だけでなく、Wiseやクレジットカードなどで保険料のお支払いができます。新たに海外口座を開設する必要はありません。

02

# 香港保険のご契約例

# 香港保険のご契約例

35歳で保険料50,000USD（約750万円）契約をした場合



03

# 香港保険の特徴



## 特徴1

# 元本確保

運用の責任の一部を保険会社が負います。

一定期間が経過すると、払い込んだ元本を確保しながら、長期的に資産の成長が期待できます。

※銀行預金のような「いつでも元本保証」ではありません。

途中解約や早期の払込停止を行った場合は元本割れとなる可能性があります。



## 株式や投資信託は、 上がり下がりが大きい投資

世界情勢や金利、為替の影響を受けやすく、短期的に資産が20～30%目減りすることもあります。長期運用で成長は期待できますが、常に値動きの不安と付き合う必要があります。

香港保険ならではの！

## 香港保険は元本確保の設計 安定的に資産を守りやすい

保険会社が高格付け債券などを中心に運用。毎日の値動きを気にして売買する必要はありません。一喜一憂することなく計画的な資産形成ができやすいのが特徴です。

## 特徴2

# 将来の収益が見えやすい

契約前から将来受け取れる金額の目安が1ドル単位で示されます。

また、この将来の見通しは契約時だけではなく、毎年の運用報告書でも確認できます

そのため、相場の変動に一喜一憂することなく、進捗を確認しながら安心して運用を続けやすい仕組みになっています。



**株式は、相場に左右されるため、  
将来いくらになるかはわからない**

経済や金利の変化で値動きしやすく、10年後・20年後に「いくらになっているか」を予測することはできません。その時々運用状況を見ながら売却のタイミングを考える必要があります。

香港保険ならではの！

**香港保険なら、将来のイメージを立てやすい**

将来、解約した場合の返戻金の目安が、年ごとに1ドル単位で設計書に示されます。

目標とする金額や受け取りたい時期から逆算してプランが組み立てやすい仕組みです。

## 特徴3

## グローバル対応

世界中どこに居住していても運用をそのまま続けることができ、世界中の銀行口座で自由に資金を受け取れます。

日本に帰国したあとだけでなく、他の国へ移住した場合でも安心です。

**本帰国や海外転居すると使いづらい**

多くの国の金融サービスは、その国の「居住者向け」に設計されています。

そのため、日本への本帰国や別の国へ転居すると条件が合わず、解約が必要になることも。

香港保険ならではの！

**香港保険なら、世界中どこにいても  
継続・受取が可能**

居住国を問わず、契約を維持でき、世界中の銀行口座で受け取りができます。

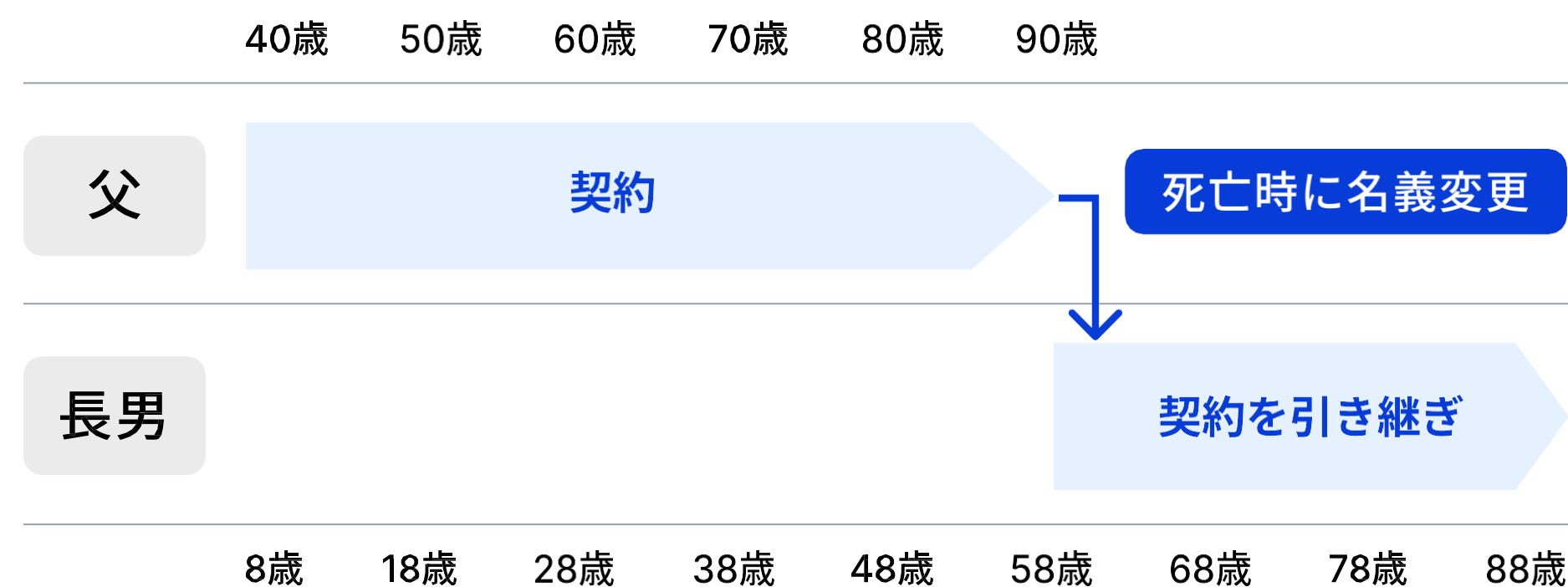
日本や他国へと生活拠点が変わっても、同じ契約をそのまま活かせる柔軟性があります。



## 特徴4

## 契約者と被保険者の名義変更

死亡時などに被保険者の名義をお子さまへ変更をすることで、契約をそのまま引き継ぐことができます。  
お子様などへスムーズに資産を継承することができます。

**預金・投資信託などは  
海外特有の「口座凍結」リスクも**

海外の金融資産は、所有者が亡くなると「プロベート（裁判所の手続き）」が必要になり、口座が長期凍結されたり、多額の弁護士費用がかかるケースがあります。

**香港保険ならでは！****香港保険なら、  
「名義変更」でスムーズに継承**

保険契約は「資産」だけでなく「契約上の権利」として扱われるため、プロベートを経ずに名義変更だけで権利を移行できます。面倒な国際相続手続きを回避できます。

特徴5

証券分割

運用途中に証券を分割し、資産を小口に分けることができます。その一部をお子さまなど大切な方へ段階的に渡すことができます。



日本の国内保険は、  
家族ごとに分けにくい

日本の保険は「1契約＝1証券」が基本で、あとから子どもごとに分けて承継することはできません。複数人に資産を公平に引き継ぐには、解約して現金で分けるなどの対応が必要になります。

香港保険ならではの！

香港保険なら、  
自由に証券を分割できる

1つの契約を将来複数の証券に分け、長男・長女など家族単位で名義の変更ができます。ご希望のタイミングに合わせて柔軟に対応できます。

04

# 他の金融商品との違い



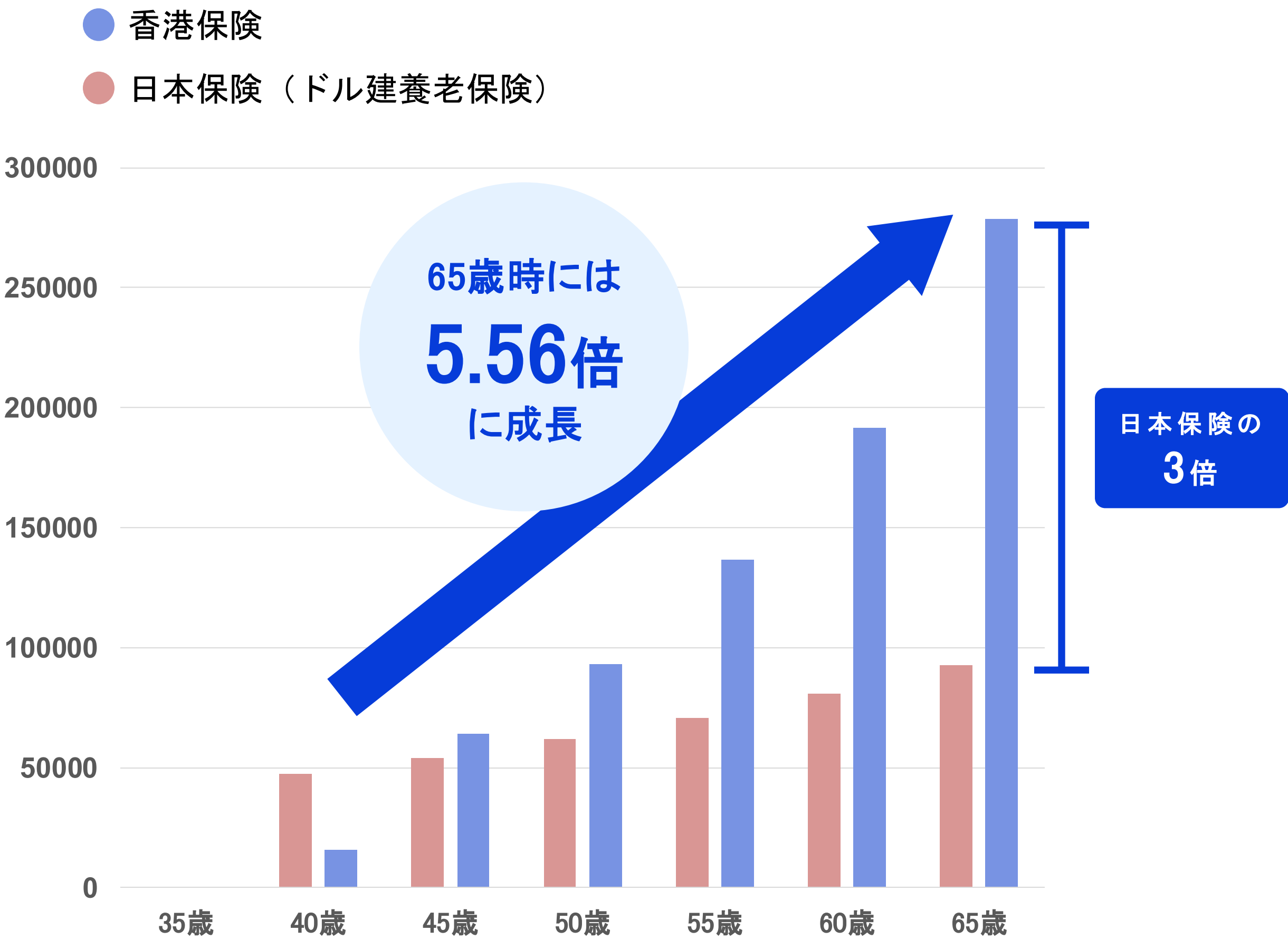
# 他の金融商品との比較

株式や投資信託などの攻めの資産と香港保険を組み合わせることで、リスクを抑えながら資産の拡大ができます。

	香港保険	株式・投資信託	債券(高格付け)	外貨定期預金
期待収益性	○	◎	△	△
リスク	低～中	高	低	低
流動性	◎ 3年経過後	◎	○	△
元本確保	あり (一定期間後)	なし	あり (償還時)	あり
国際相続	◎	×	×	×

# 日本の保険との比較

35歳で保険料50,000USD（約750万円）の契約をし、  
66歳から5,160USD（約77万円）を100歳まで毎年受け取った場合



100歳時には **43.8倍** に

複利の力で資産が加速度的に増えていき、100歳になる時には

**USD 2,193,452**（約3億2900万円）にまで成長します。（元本の43.8倍）

05

# 香港保険の運用の中身



# 保険会社の根幹の考え

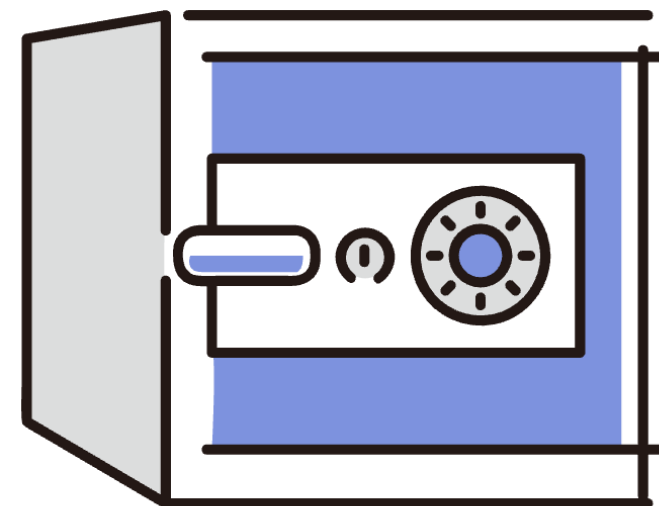
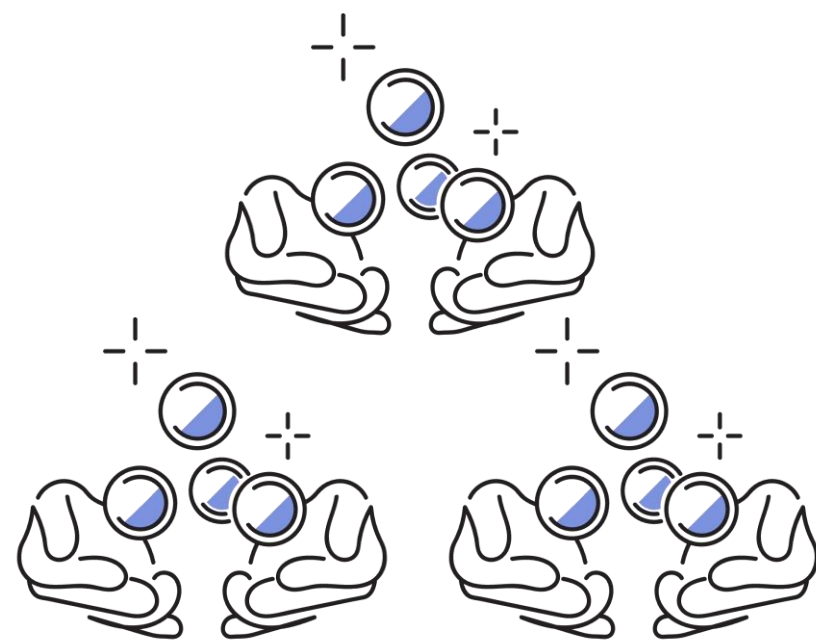
保険会社は多くの契約者から集めたお金をまとめて運用する代表的な機関投資家です。

個人投資家ではアクセスが難しい機関投資家向けの資産へ投資を行います。

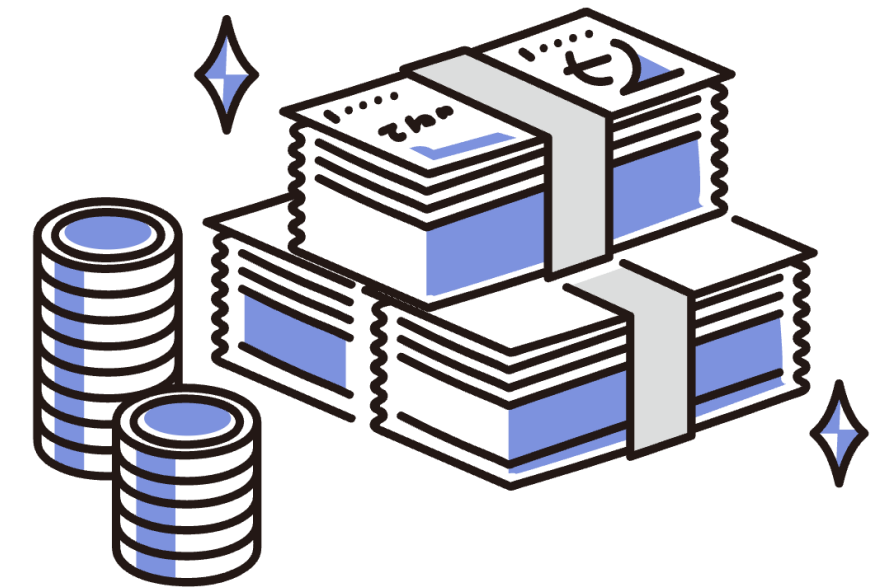
香港保険はこの「**みんなでお金を出し合う力（相互扶助）**」を活かした長期運用を行なっています。

その結果、**契約者側では一定期間が経つと払込んだ元本は確保されていき、**

**相場の影響が受けにくい安定した資産を作ることができます。**



保険会社（機関投資家）



安定した資産（元本確保）

# 香港保険の運用の中身

香港保険の最大の強みは、世界中から集めた巨額の資金を活かした「機関投資家」としても運用にあります。

一般的な個人投資家が購入する株式や債券にとどまらず、**個人では購入の機会が限られる「好条件の新発債（新たに発行される債券）」や「オルタナティブ投資（不動産・未公開株、インフラ事業）」などにも幅広く資金を配分**しています。このように、機関投資家ならではの投資先へ分散を行うことこそが、リスクを抑えながら安定的なリターンを確保できる理由です。



## 債券運用

信用力の高い国債や社債を長期保有。市場の変動に左右されない利息収入を積み上げ、資産形成の盤石な土台を固めます。



## デリバティブの活用

利益を追求するのではなく、相場急変時のショックを和らげる目的として活用。資産価値を守り、安定した運用を実現します。



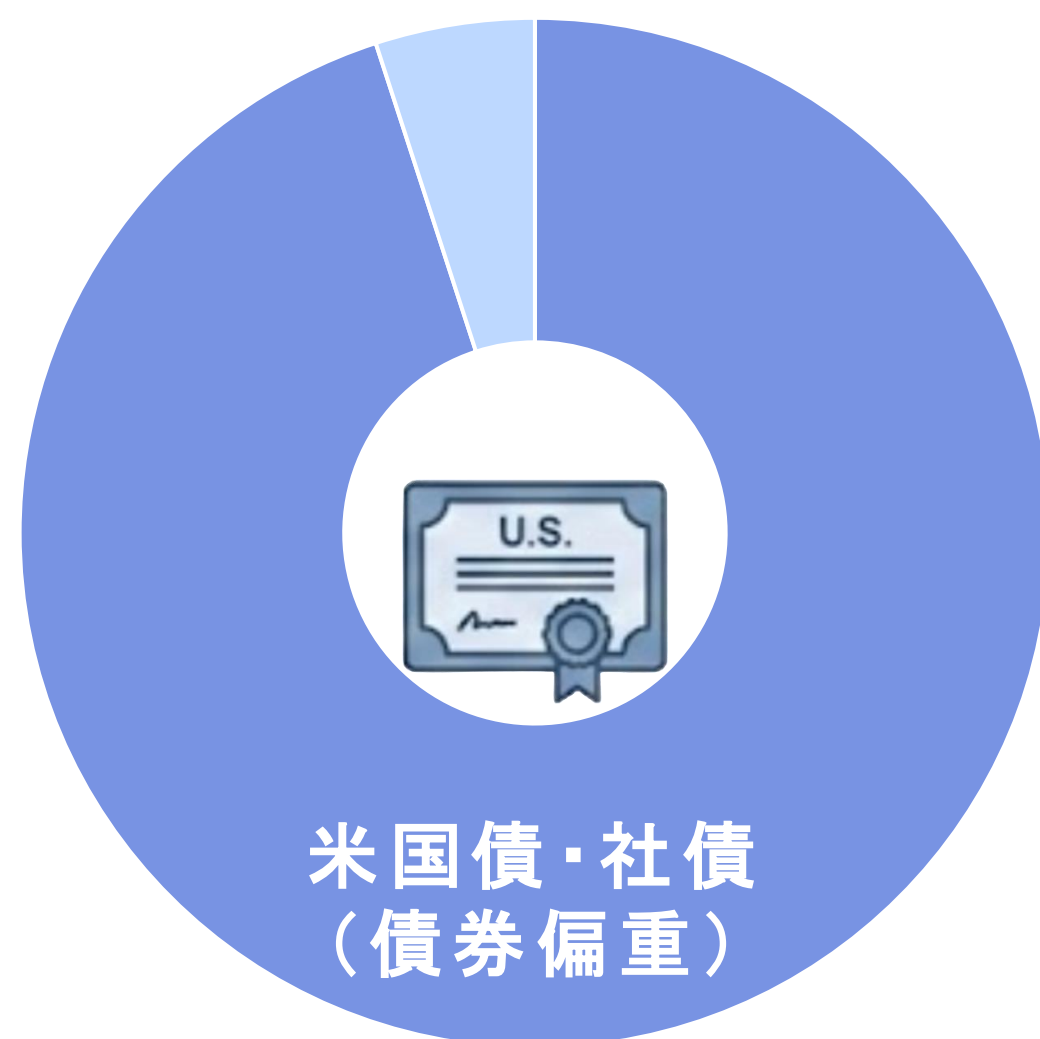
## オルタナティブ投資

未公開株や不動産、インフラなど、個人では難しい資産へ投資。株式と異なる値動きでリスクを分散し、更なるリターンを追求します。

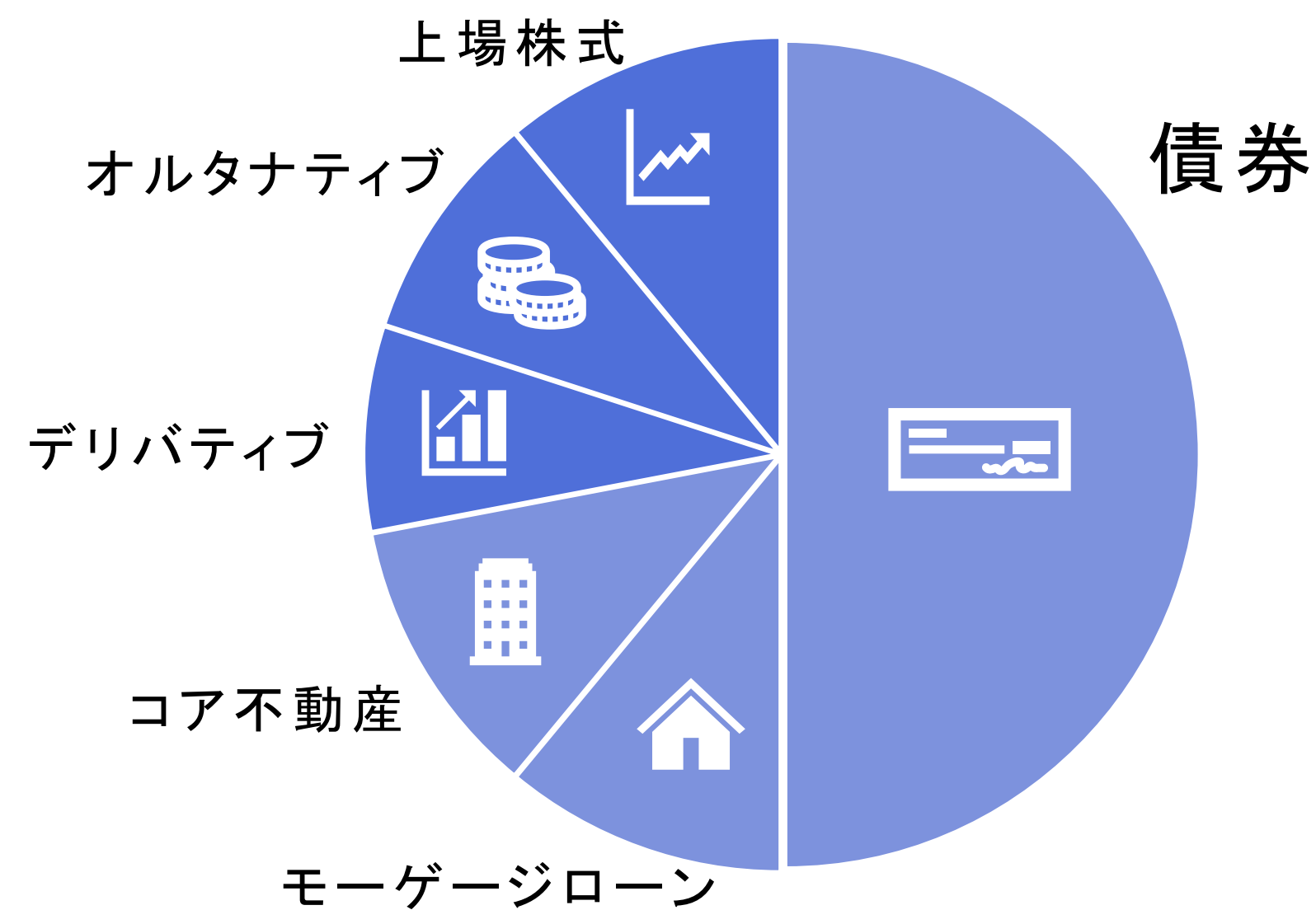
# 日本の米ドル建て保険との違い

日本の米ドル建て保険は、規制により国債や社債など「利回りが固定された資産」に偏っているため、金利の影響をダイレクトに受けてしまいます。（インフレに弱い構造）一方、香港保険は株式やオルタナティブなど「成長する資産」を組み込むことで、**インフレに負けない強い収益を生み出します。**

## 日本の米ドル建保険



## 香港保険



● リターン向上とリスク抑制    ● 安定したキャッシュフロー



06

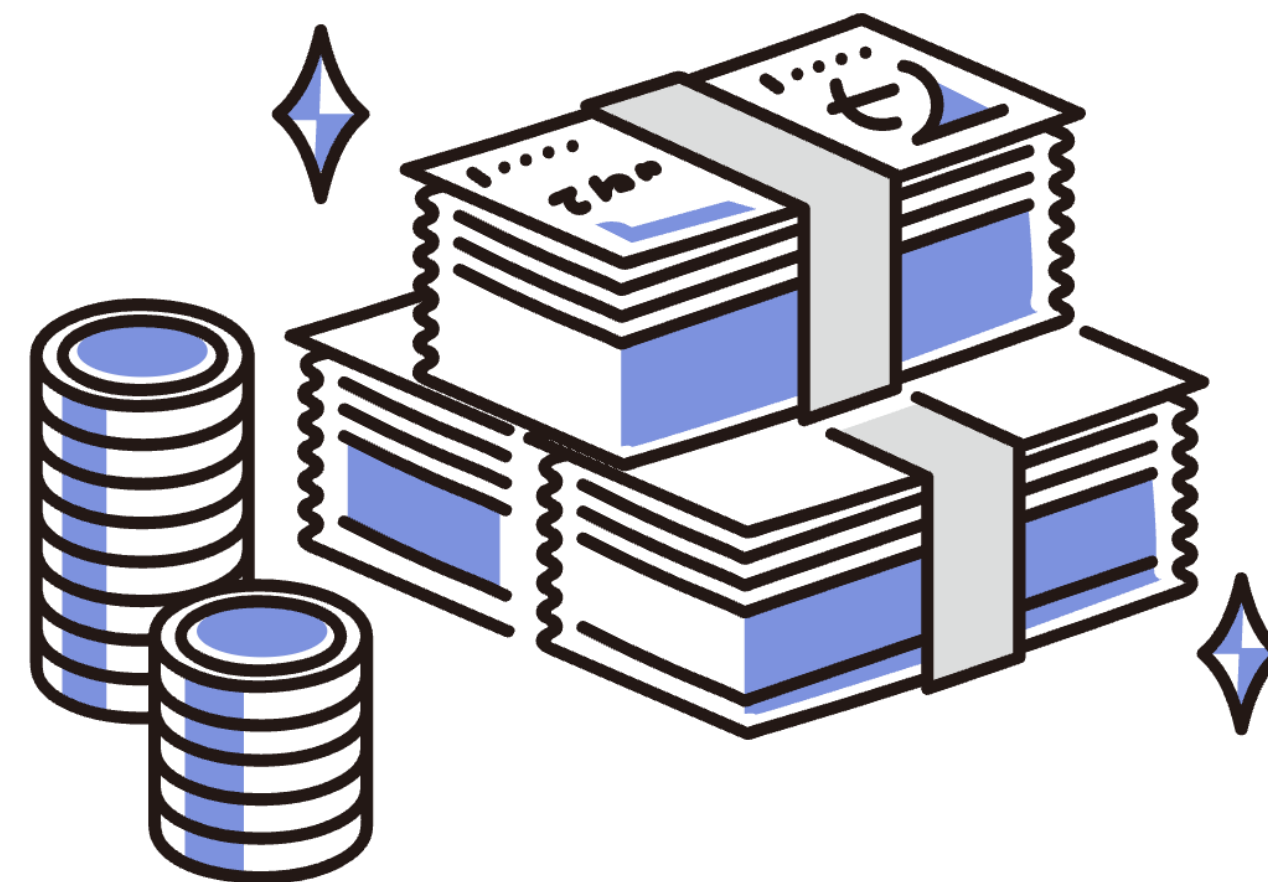
香港保険が適している人

## ケース1

# これまで貯めてきたまとまった資金を活用したい方

海外在住中にコツコツ貯めた貯蓄や、不動産売却で得た資金、相続・贈与で受け取ったまとまったお金を、ただ預金で眠らせるのではなく「時間をかけてふやしていきたい」という方に香港保険は適しています。

株式のように価格が大きく上下しにくい設計のため、投資タイミングを気にすることなく始めることができます。



## ケース2

# 相場に振り回されにくい“安定資産”をつくりたい方

老後の年金づくりや、お子さまの教育資金のように「相場が暴落しても必要なお金」は、安心して準備したいものです。

香港保険は、**株式や投資信託ほど日々の値動きが大きい安定資産**として使いやすいです。

また、ご契約時だけでなく契約後も、**設計書で常に将来の保険金を確認できます**ので計画が立てやすくなります。

値動きに一喜一憂することなく、本業やご家族との時間に集中したい方にとって、ポートフォリオの“土台”として活用しやすい選択肢です。



## ケース3

# 円だけに偏らず、ドル建て資産を持ちたい方

「このまま円だけで大丈夫だろうか」「将来の円安が不安」と感じている方にも、香港保険は検討する価値があります。

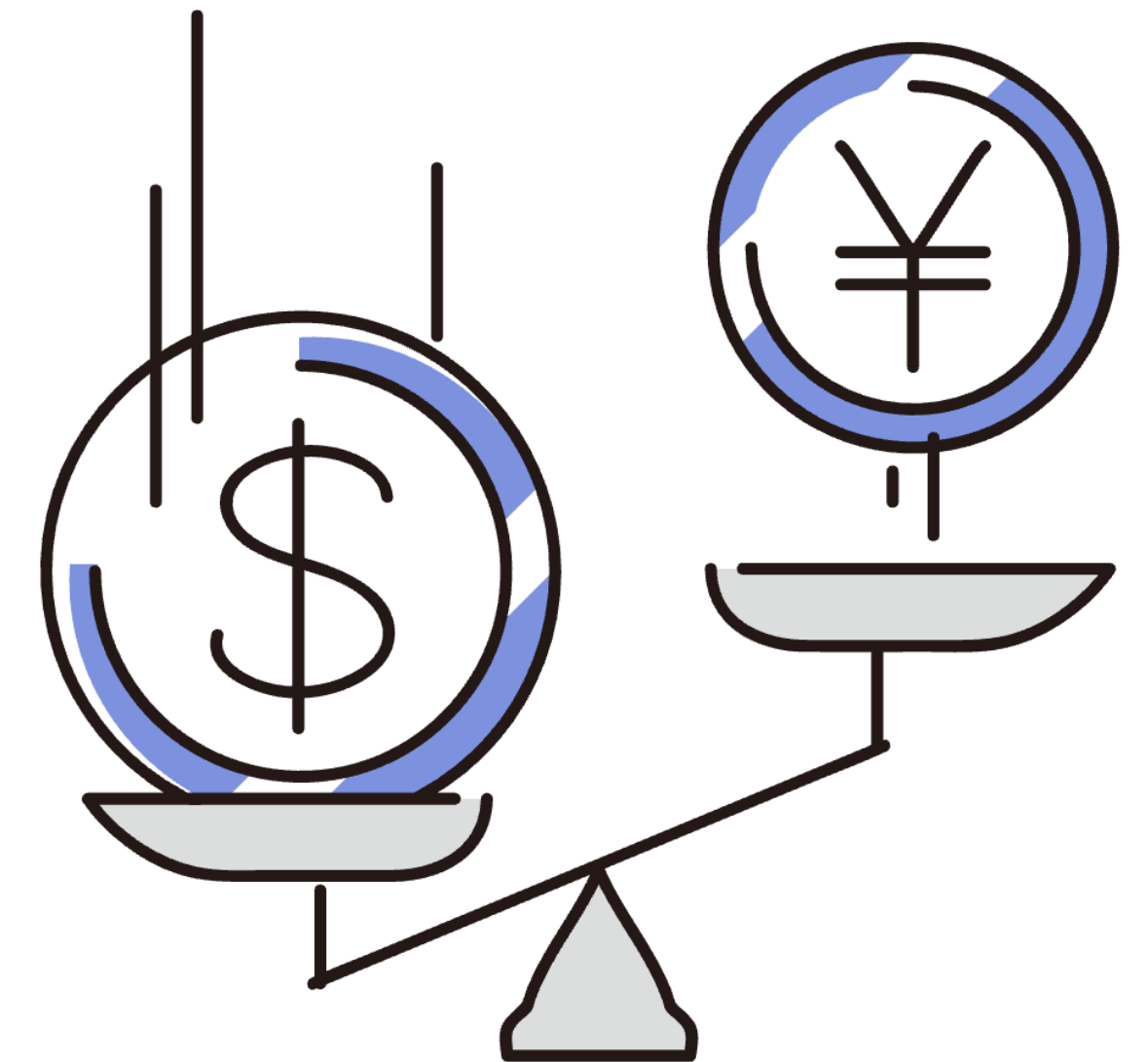
香港保険は米ドルなど、円とは違う通貨で資産を持つことができます。

将来、受け取ったドルをそのまま海外での生活費や教育費として使ったり、ドル建ての株式・ETFへの投資に振り向けることもできます。

資産を円だけに偏らせず、ドルも組み合わせて**為替リスクを備えておきたい方に適した選択肢**です。

※ 米ドル、カナダドル、オーストラリアドル、ポンド、人民元、香港ドルからお選びいただくことができます。

※ 運用途中で通貨を切り替えることもできます。





## ケース4

# 将来の相続や資産承継をお考えの方

日本国外の預金や証券口座、不動産は国際相続や名義変更の手続きが複雑になる場合があります。

香港保険はこのような面倒な国際相続を回避できます。

ご契約時だけでなく、ご契約後も受取人を自由に指定できます。

また、将来的に名義変更や証券分割を活用することで、**家族間での資産承継をスムーズに行うことができます。**



※ 具体的な税務上の扱いはお客さまの状況により異なるため、必ず税の専門家への確認が必要です。

## ケース5

# 海外駐在や海外移住など今後も 国をまたいで生活する可能性がある方

「今は海外在住だが、将来は日本に戻るかもしれない」

「さらに別の国へ移る可能性もある」

といった多拠点で生活をする可能性のある方にも、香港保険はとても相性が良い商品です。

**香港保険は、居住国が変わっても契約をそのまま続けることができます。**

また、国外転出時課税の対象ではありません。

将来、**日本でも他国でも、世界中の銀行口座で受け取りが可能**なため、  
国境をまたいで生活拠点が変わりやすい方にとってとても扱いやすい資産  
と言えます。

※ 国外転出時課税制度の対象資産・判定は法令改正等により変わる可能性があるため、  
最新のルールについては専門家にご確認ください。



## ケース6

# 日本だけに資産を持っておきたくない方

「日本の財政・税制だけに将来を依存したくない」

「万が一、日本に大きな制度変更があったときの“逃げ場”も用意したい」

という考えの方にも、香港保険は一つの選択肢になります。

香港保険は、国外財産となるため原則、居住国の税制が適用されるため、居住国によっては税負担を減らすことができます。

資産の一部を、**日本とは異なる法制度・通貨圏で保有することで、カントリーリスクを分散する効果が期待できます。**

※ 香港の一部の保険会社は法人登記を香港以外へ移しています。弊社では香港以外に法人登記を移している保険会社から選択することをお勧めしています。



## ケース7

# 配偶者が外国籍の方

多くの香港保険は世界中の顧客を対象にサービスを行なっています。  
配偶者が外国籍で、将来は日本・海外どちらに生活拠点を置く可能性もある場合、「どの国の銀行口座でも受け取れる」ことはとても重要です。

香港保険なら、世界中の銀行口座で受け取りが可能なうえ、保険会社側のサポートも日本語だけでなく英語での対応が用意されています。

香港保険なら将来、万一のことが起きても安心して資金をお受け取りできます。





## ケース8

# 子どもがいないご夫婦

お子さまがいないご夫婦の場合、「自分に何かあったときに、配偶者がスムーズに資産を受け取れるか」という点がとても重要になります。

預金や投資信託、不動産の場合、相続人の範囲や遺留分の問題から、配偶者が希望どおりに受け取れず“争族”になりやすいリスクがあります。

**香港保険の場合、あらかじめ配偶者を受取人として指定しておくことで、他の相続人と揉めることなくスムーズに保険金という形でお受け取りできます。**

「残された配偶者が困らないように準備しておきたい」というご夫婦にとって、有効な選択肢となります。また第三者を受取人とすることもできます。

※ 相続・遺留分などの最終的な取り扱いは各国の法律に依存するため、具体的な設計は専門家と相談のうえ行うことが重要です。



07

# 活用シナリオ

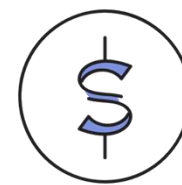
# シナリオ1 教育資金 & ゆとりある老後プラン



父35歳



子5歳



保険料 USD 50,000

START

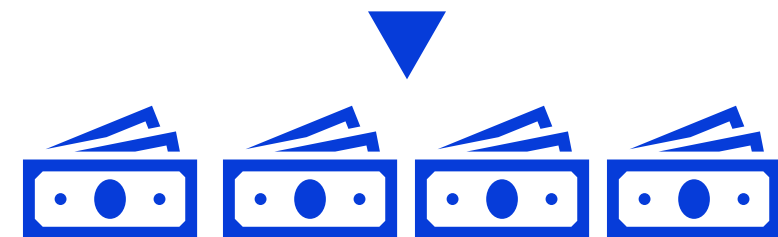
(父35歳/子5歳)

大学進学

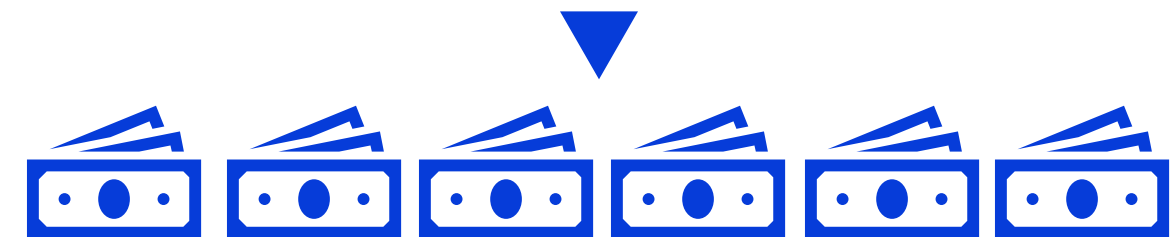
(子19-22歳)

セカンドライフ

(父65歳~100歳)



毎年USD7,000  
引き出し(4年間)



毎年USD15,000  
引き出し続ける

# シナリオ1 教育資金 & ゆとりある老後プラン(シミュレーション)

- 累計引き出し額
- 運用中の資産額



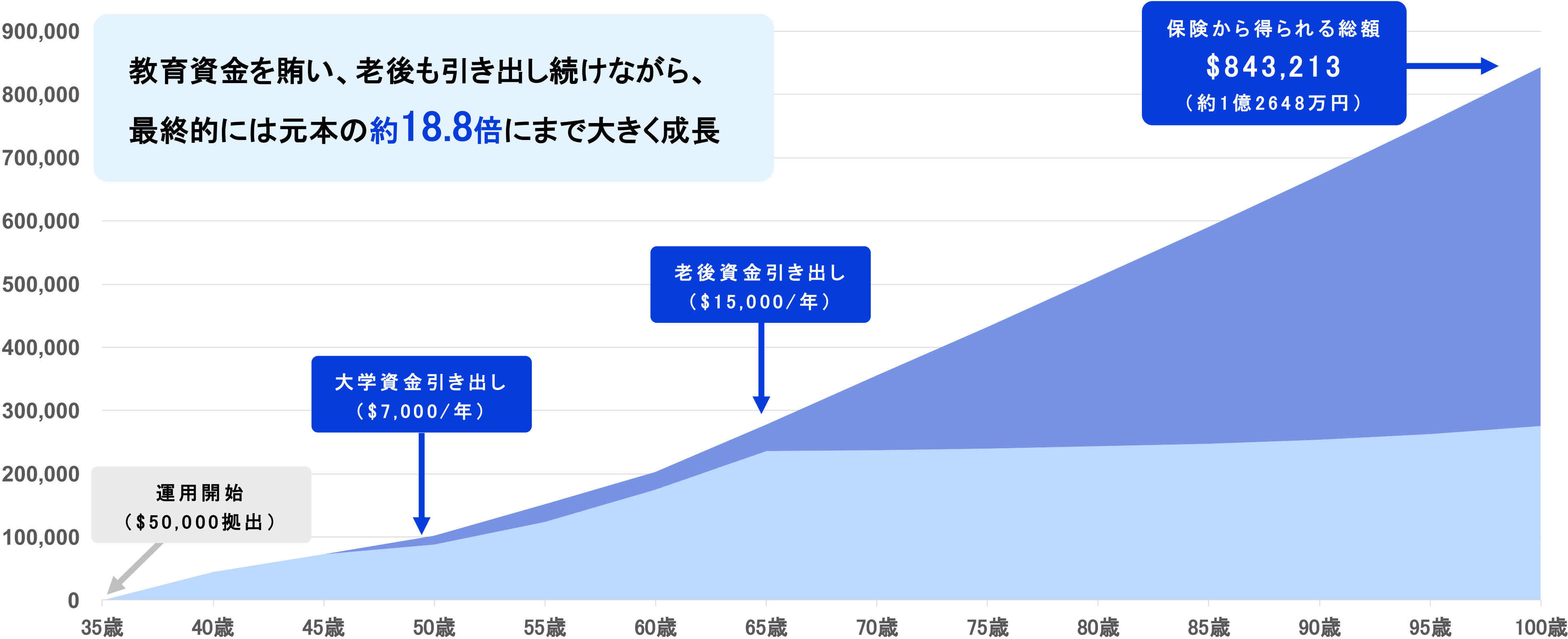
父35歳



子5歳



保険料 USD 50,000

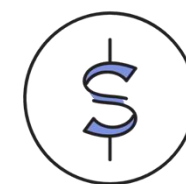




## シナリオ2 「攻め」の投資原資 & 「守り」の老後準備プラン



40歳

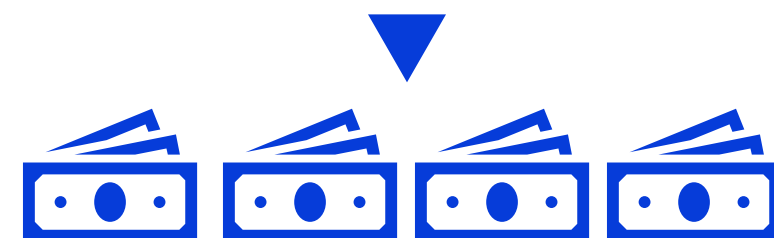


保険料 USD 100,000

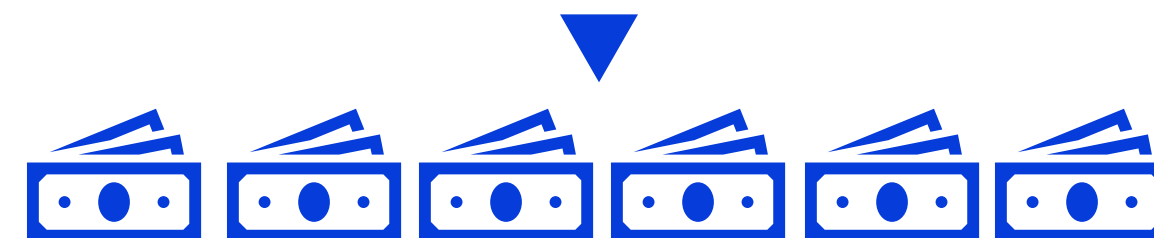
START  
(40歳)

投資資金  
(46-65歳)

セカンドライフ  
(66歳～100歳)



毎年USD7,000引き出し  
(投資資金として活用)



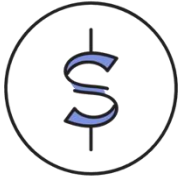
毎年USD12,000  
引き出し続ける

# シナリオ2 「攻め」の投資原資 & 「守り」の老後準備プラン(シミュレーション)

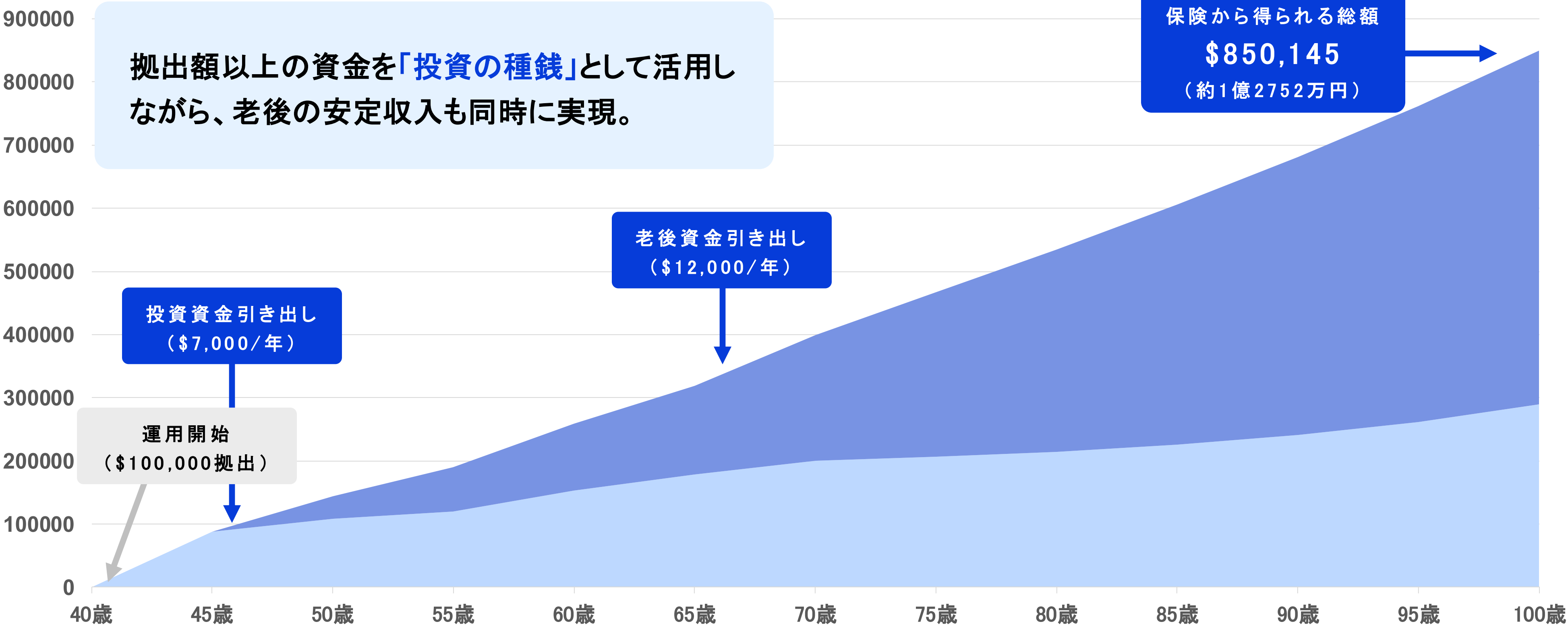
- 累計引き出し額
- 運用中の資産額



40歳



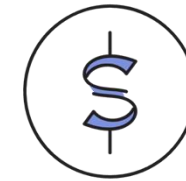
保険料 USD 100,000



## シナリオ3 ゆとりのセカンドライフプラン



45歳



保険料 USD 100,000

START  
(45歳)

セカンドライフ  
(65歳～100歳)



毎年USD21,000  
引き出し続ける

# シナリオ3 ゆとりのセカンドライフプラン(シミュレーション)

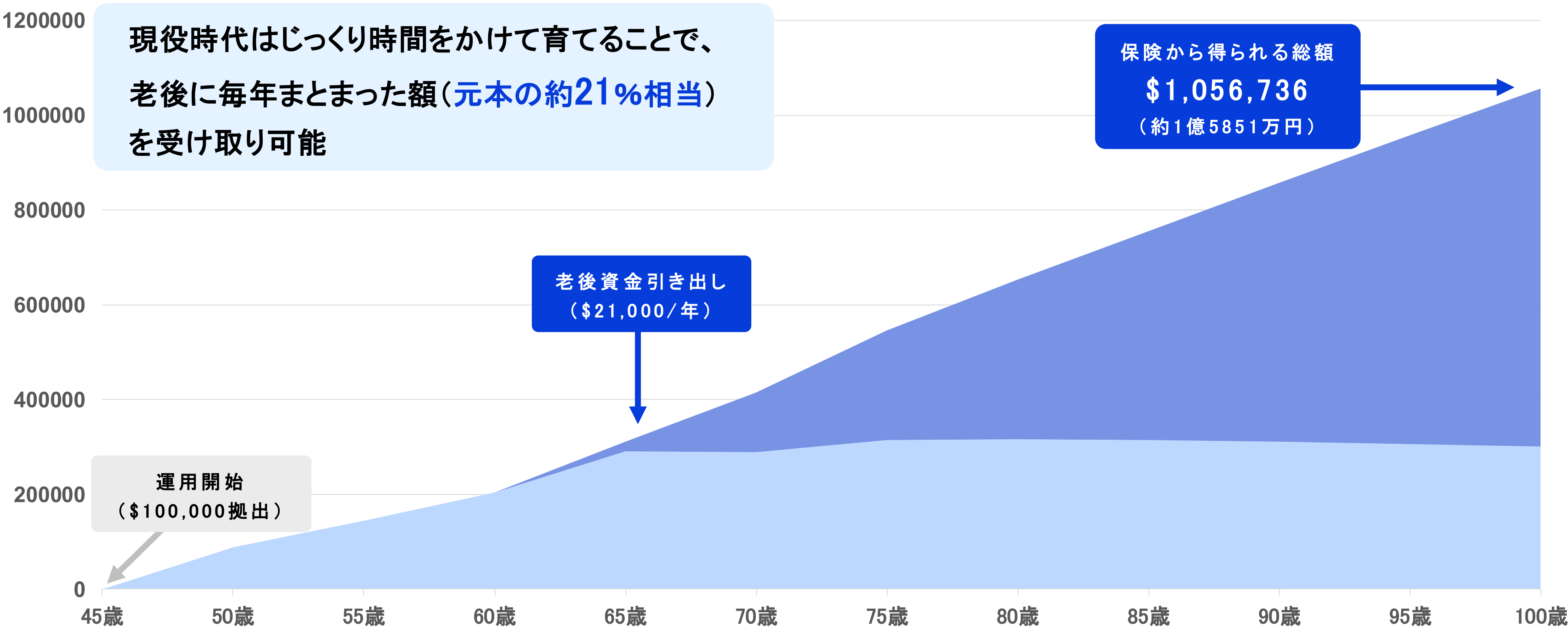
- 累計引き出し額
- 運用中の資産額



45歳

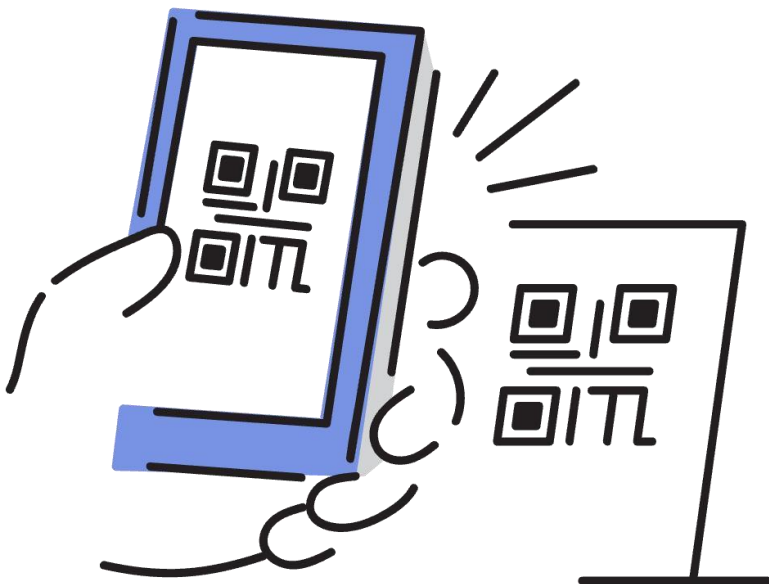


保険料 USD 100,000



# 年齢や予算、目的に応じて プランを設計します。 お気軽にご連絡ください。

グローバルサポート公式LINEを登録後、メニュー画面の「無料個別相談」からご予約ください。またはHPのメールフォームからご予約もできます。



公式LINEはこちら



Mr. HP  
Age 40 (Male, Non-smoker)  
SunJoy Global Insurance Plan II - 2 Pay

Initial Notional Amount :  
Initial Annual Premium :

USD 50,000  
USD 25,000.00

SUPPLEMENTARY ILLUSTRATION OF BENEFITS (Withdrawal Option)									
End of Policy Year	Age of Life Insured	Cash Withdrawal Amount* (at the end of the policy year)	Cumulative Cash Withdrawal Amount (A)	SURRENDER VALUE AFTER CASH WITHDRAWAL				Cumulative Cash Withdrawal Amount + Total Surrender Value (A) + (E)	Notional Amount After Cash Withdrawal
				Guaranteed (B)	Cash Value of Accumulated Reversionary Bonus (C)	Cash Value of Terminal Bonus (D)	Total (B+C+D) = (E)		
1	Age 41	0	0	2,500	40	500	3,040	3,040	50,000
2	Age 42	0	0	10,000	2,289	6,817	19,106	19,106	50,000
3	Age 43	0	0	10,000	3,447	23,250	36,697	36,697	50,000
4	Age 44	0	0	12,000	4,615	23,300	39,915	39,915	50,000
5	Age 45	0	0	15,000	5,792	23,349	44,141	44,141	50,000
6	Age 46	0	0	21,150	6,978	23,400	51,528	51,528	50,000
7	Age 47	0	0	24,500	8,174	23,450	56,124	56,124	50,000
8	Age 48	0	0	27,500	9,379	23,850	60,729	60,729	50,000
9	Age 49	0	0	31,250	10,595	23,899	65,744	65,744	50,000
10	Age 50	0	0	36,600	11,819	24,164	72,583	72,583	50,000
11	Age 51	7,000	7,000	36,700	6,054	25,738	68,492	75,492	50,000
12	Age 52	7,000	14,000	37,600	242	26,613	64,455	78,455	50,000
13	Age 53	7,000	21,000	46,435	0	24,713	71,148	92,148	46,342
14	Age 54	7,000	28,000	43,282	0	25,220	68,502	96,502	42,642
15	Age 55	0	28,000	43,495	972	28,214	72,682	100,682	42,642
16	Age 56	0	28,000	43,623	1,952	32,752	78,327	106,327	42,642
17	Age 57	0	28,000	44,519	2,940	37,081	84,540	112,540	42,642
18	Age 58	0	28,000	45,414	3,936	42,034	91,384	119,384	42,642
19	Age 59	0	28,000	46,267	4,940	47,723	98,930	126,930	42,642
20	Age 60	0	28,000	47,632	5,951	64,250	117,833	145,833	42,642
21	Age 61	0	28,000	47,930	6,971	71,053	125,954	153,954	42,642
22	Age 62	0	28,000	48,271	7,999	78,359	134,630	162,630	42,642
23	Age 63	0	28,000	48,570	9,036	86,271	143,876	171,876	42,642
24	Age 64	0	28,000	48,868	10,080	95,393	154,341	182,341	42,642
25	Age 65	10,000	38,000	49,167	1,133	104,890	155,190	193,190	42,642
26	Age 66	10,000	48,000	47,106	0	110,355	157,461	205,461	40,609
27	Age 67	10,000	58,000	44,885	0	115,064	159,949	217,949	38,429
28	Age 68	10,000	68,000	42,754	0	119,780	162,534	230,534	36,396
29	Age 69	10,000	78,000	40,751	0	124,028	164,779	242,779	34,476
30	Age 70	10,000	88,000	38,989	0	126,500	165,490	253,490	32,764
31	Age 71	10,000	98,000	37,328	0	128,919	166,246	264,246	31,158
32	Age 72	10,000	108,000	35,731	0	131,321	167,052	275,052	29,652
33	Age 73	10,000	118,000	34,257	0	133,654	167,911	285,911	28,242
34	Age 74	10,000	128,000	32,951	0	135,874	168,825	296,825	26,920
35	Age 75	10,000	138,000	31,774	0	138,025	169,799	307,799	25,728
36	Age 76	10,000	148,000	30,662	0	140,174	170,836	318,836	24,608
37	Age 77	10,000	158,000	29,636	0	142,304	171,940	329,940	23,558
38	Age 78	10,000	168,000	28,735	0	144,381	173,116	341,116	22,573
39	Age 79	10,000	178,000	27,905	0	146,463	174,369	352,369	21,649
40	Age 80	10,000	188,000	27,141	0	148,561	175,703	363,703	20,782
41	Age 81	10,000	198,000	26,439	0	150,684	177,123	375,123	19,969
42	Age 82	10,000	208,000	25,775	0	152,861	178,636	386,636	19,207
43	Age 83	10,000	218,000	25,149	0	155,099	180,248	398,248	18,492
44	Age 84	10,000	228,000	24,594	0	157,370	181,964	409,964	17,821
45	Age 85	10,000	238,000	24,070	0	159,721	183,791	421,791	17,193
46	Age 86	10,000	248,000	23,594	0	162,144	185,738	433,738	16,603
47	Age 87	10,000	258,000	23,161	0	164,649	187,811	445,811	16,051
48	Age 88	10,000	268,000	22,755	0	167,263	190,018	458,018	15,533
49	Age 89	10,000	278,000	22,405	0	169,965	192,370	470,370	15,047
50	Age 90	10,000	288,000	22,077	0	172,797	194,874	482,874	14,591



08

# よくある質問

# 香港保険のリスクについて

他の金融商品と比べると、安全に運用ができる香港保険ですが、リスクもあります。  
ただ、そのリスクも低減することが可能です。

## リスク

早期解約時の元本割れ

為替リスク

解約返戻金の一部を構成する  
配当・ボーナスは非保証

## 対処法

無理のない金額でスタートされることを  
おすすめします

運用時や受取時に通貨の変更ができます

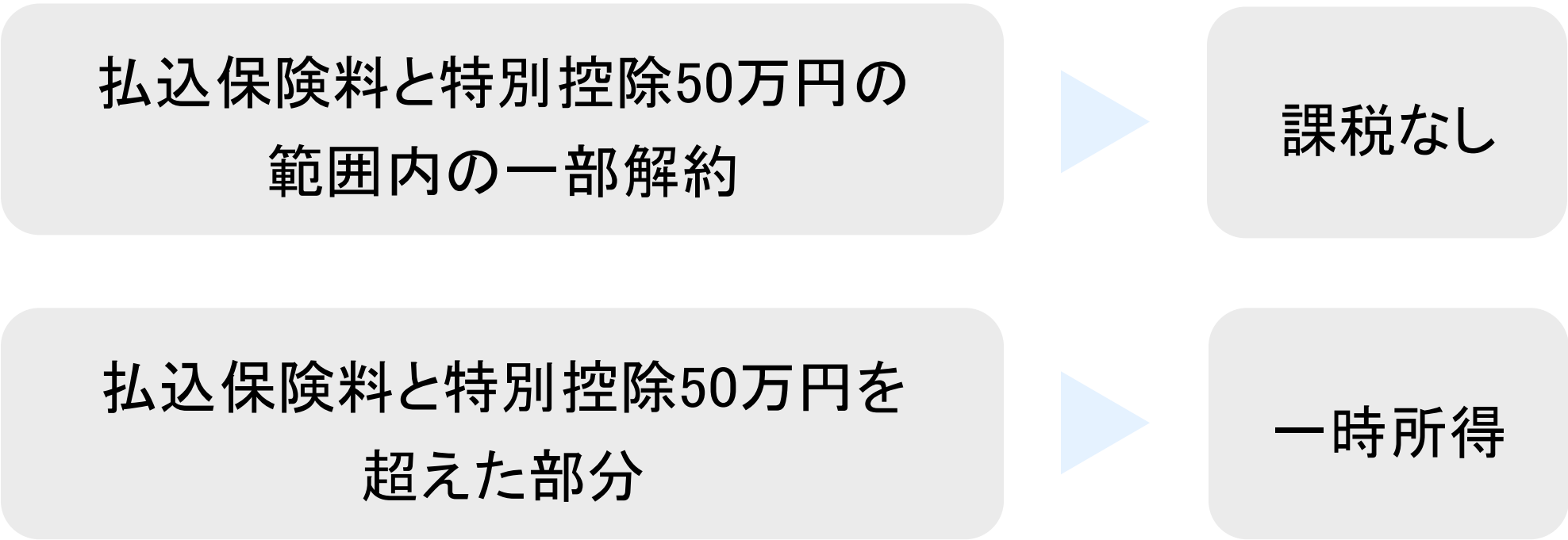
長期で保有することで  
リスクの低減につながります

# 税務について(日本居住者)

解約返戻金は所得税(一時所得)で計算します。

一時所得の計算式

$$(\text{受取額} - \text{払込保険料} - \text{特別控除50万円}) \times 1/2$$



※本資料は税務アドバイスではありません

## 計算例(香港保険と債券利息の比較)

年齢:65歳(配偶者あり)  
公的年金収入:年200万円  
A:香港保険一部解約(利益):200万円  
B:債券利息:200万円

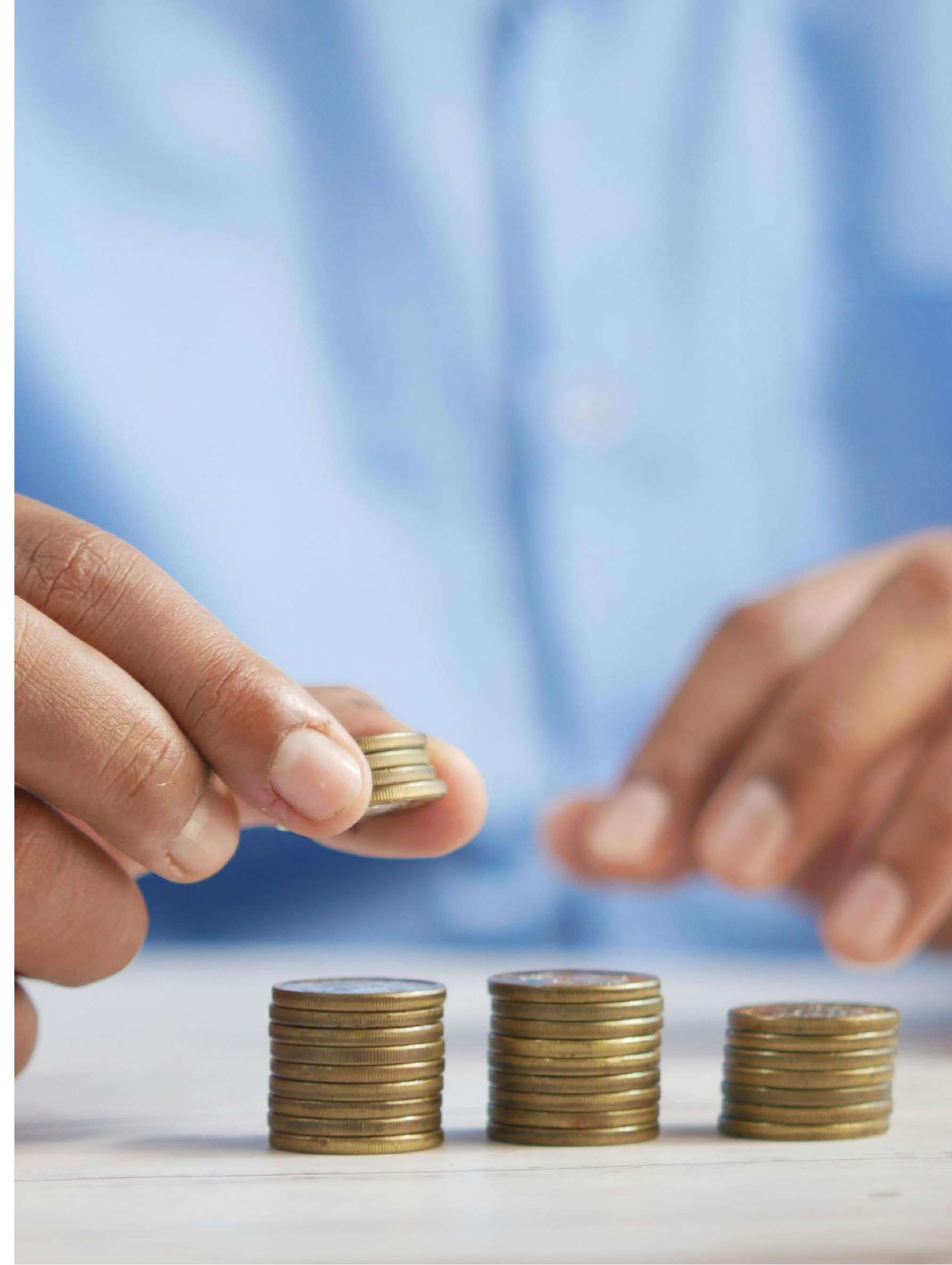
	香港保険 (一部解約)	債券利息
受取金額	200万円	200万円
税制	一時所得 (総合課税)	利子所得 (分離課税20.315%)
総額	約11.4万円	約41.7万円

# 税務について(海外居住者)

お住まいの国の税制が適用されます。

専門家へ確認することをおすすめします。

※本資料は税務アドバイスではありません



# その他のご質問

## Q. 支払方法を教えてください

外国送金、クレジットカード、デビットカード、Wiseなどでお支払いできます。  
弊社はWiseの認定パートナーです。

## Q. 払込方法は選べますか？

月払い・半年払い・年払い・全期前納払いから選択できます。

## Q. いくらからできますか？

年間3,000USDの5年払い（合計15,000USD）からご契約できます。



# その他のご質問

## Q. チャイナリスクが不安です

法人登記を香港国外へ移転している保険会社から選択することをおすすめします。  
詳しくはお問い合わせください。

## Q. 香港まで行く必要がありますか？

オンラインと郵送でご契約手続きができます。香港まで渡航いただく必要はありません。

09

# 会社概要・お問い合わせ

# 会社概要

会社名	Global Support (Thailand) Co.,Ltd.
代表者	久米 直也
所在地	571 RSU Tower, Unit 304, 3/F, Sukhumvit soi 31, Sukhumvit Rd, Klongton Nua, Wattana, Bangkok 10110 Thailand
設立	2006年
グループ会社	香港 Global Support Hong Kong Limited.  インドネシア(ジャカルタ) Global Support Indonesia Limited.  GSクラブ サポートデスク(日本)
事業内容	海外保険のサポート 海外居住者向け資産運用コンサルティング



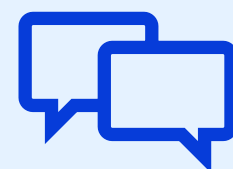
# グローバルサポートの強み

2006年に香港にて創業して以来、これまでに累計10,000名以上のお客さまの資産運用をサポートしております。



## グローバルな 他拠点体制を展開

アジアを中心に4拠点を展開しています。アジア～欧米など、全世界のお客さまをサポートしています。



## 日本国内に サポートデスクを設置

日本帰国後のサポートも日本語で対応しています。日本国内では国内郵便でお手続きができます。



## 契約者専用の ホームページ

保険会社、保険商品の最新情報をお届けします。各種手続きの問い合わせや、契約者専用の動画配信も行なっています。



# 復習ウェビナーによる 手厚いサポート

契約者向けに復習ウェビナー（無料）を定期的 to 実施しています。  
香港保険に関する仕組み等の基礎から、税制改正による影響などの  
最新ニュースまで、幅広くお伝えします。

## ウェビナーの過去のテーマ

- ・ 香港貯蓄型保険の一部引き出し機能で株式投資やNISAを行う方法
- ・ 税制改正による香港貯蓄型保険への影響
- ・ 香港貯蓄型保険の運用の仕組みと商品リスク等





# ご契約の流れ

1

## 無料個別相談

Zoomもしくは対面（香港・タイ在住の方のみ）にて、個別相談を実施します。

2

## ご提案・設計書のご確認

個別相談での内容を踏まえて、お客様一人ひとりに合った商品をご提案いたします。

3

## 必要書類のご準備

パスポートや住所証明などご契約に必要な提出書類をご案内いたします。

6

## 保険証券のお受け取り

保険料のお支払いから約2～3週間後に保険証券がご自宅に送付され、契約完了です。

5

## 保険料のお支払い

外国送金だけでなく、Wiseやデビットカードなどもご利用いただけます。

4

## 契約書類の署名

お住まいの国のご自宅まで国際郵便で契約書類をお届けいたします。

# 無料個別相談のご紹介

グローバルサポートでは、無料の個別相談を実施しています。

- ・まずは情報だけ聞いてみたい方
- ・自分の年齢やご予算に合わせて説明を受けたい方
- ・ご都合の良い時間に説明を聞きたい方
- ・受取時の手続きや税金について詳しく知りたい方
- ・他の金融商品を含めて、自分に合った選択肢を知りたい方

資産運用が初めての方は、「何から聞けばいいかわからない」という方も、どうぞお気軽にご相談ください。

※ こちらのしつこい営業や無理な勧誘は一切行っておりません。情報収集や整理のための場としてご利用いただけます。

※ 個別相談でお渡しする資料はすべてお持ち帰りいただき、ご自宅でゆっくりご確認ください。

## 公式LINEはこちら

グローバルサポート公式LINEを登録後、メニュー画面の「無料個別相談」からご予約ください。またはHPのメールフォームからご予約もできます。



# 免責・準拠

- 本資料は一般的な情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品等の勧誘・推奨を行うものではありません。
- 配当・ボーナス等の分配はすべて非保証であり、将来の運用実績や受取額を確約するものではありません。
- 法務の取扱いは各国の法制度やお客さまのご状況により異なります。最終的な判断は、必ず税理士など専門家へご相談ください。
- 日本国内居住者の方に対する金融商品の勧誘・販売は行っておりません。